

## 石狩川流域委員会 議事要旨

■日 時:平成 29 年 5 月 19 日(金)14:30~16:30

■場 所:深川市経済センター

■出席者:黒木委員長、中村副委員長、上田委員、片石委員、定池委員、山田委員  
(以上 6 名)

### ■議事要旨

(1)これまでの流域委員会と本委員会での審議内容

・特段意見なし。

(2)石狩川流域の概要 等

・石狩川流域の治水が始まって 100 年以上。これまでに投資した予算に対する効果如何。(委員長)

→農業事業含め整理している。次回提示したい。(事務局)

・氾濫被害に関して、経年的に減少。しかし、昭和 56 年 8 月上旬洪水で内水被害が増えた理由如何。また、平成 13 年 9 月洪水で内水被害が減った理由如何。(委員)

→堤防整備が進み、内水氾濫が増えた。上流ダムの整備や河道掘削、浚渫、排水機場の整備に加え、移動式の排水ポンプによる内水排除を進めたことにより平成 13 年 9 月洪水では内水被害が軽減したと考えている。(事務局)

・今後のリスクの軽減を考えるにあたって、石狩川流域における当該流域の保全の対象の価値はどのように考えるべきか。(委員)

・千歳川遊水地は非常に広大な土地を活用している。有効利用の観点如何。(委員)

→長沼町舞鶴遊水地では、タンチョウの飛来が確認されており、タンチョウを活用した地域作りを検討している。流域展開も想定。(事務局)

・人口減少、高齢化は今後も続くだろう。休耕田が増える中、流域整備における地域産業の価値をどのように評価するか(委員)。

→農業分野では、区画整理事業として農地の大規模化を進めている。委員に意見を伺った上で、整理していきたい。(事務局)

- ・年齢別人口をふまえて、高齢者を中心とした防災対策が重要。農業従事者も多く含まれると予想されるが、年齢別人口における産業別就業割合を提示いただきたい。(委員)

### (3) 河川整備計画の見直しの必要性 等

- ・流木被害に触れていない。河口沿岸では漁業者が回収している。流木発生を抑えることが難しいのは理解するが、洪水規模と発生流木量、そのうちダムでの捕捉する量や河道を流下する量の予測など、リスクの共通認識を図るためにも沿岸にも目を向けて欲しい。(委員)

→ 沙流川において、平成 15 年 8 月の出水で整理していたと記憶。次回提示する。また、十勝川では流出量等を整理している。(事務局)

- ・雨竜川は鬼怒川のように南北に長い流域をもつ。線状降水帯など降雨パターンと流域形状の分析が重要と思料。空知川では他降雨と同程度の雨量であるものの、非常に流出量が多い。事前降雨の影響と思料。リスク管理の観点から、今後、どこまでを考えるべきか(委員)。

- ・流木については、比流木量に相当するものがあるので紹介する。河道の樹林化をどのように管理していくか。限られた予算の中で、樹木管理の議論が重要。(委員)

- ・河川改修により、災害リスクは減少したと思料。一方で降雨は激甚化。災害の社会的性質上、ひとたび災害が起こると過疎高齢化が一気に加速するおそれがある。今後は、地域の産業をどのように守るかが重要。自治体単独ではなく、広域でどのように対処する必要があるか。(委員長)

- ・首長らの会議では、避難勧告の発令に悩んでいる旨を聞く。気候変動が加速するなか、国や道による情報提供などのサポートが必要(委員)。

- ・水ビジョンでも議論している。流域タイムラインの作成や、どのような情報が首長らの意思決定に資するかといった議論と思料。(委員)

- ・農業と水産の関係で、流域にどのような堰がいつ設置され、どのように利用されているか。農業の水産に対する影響を知りたい。次回提示いただきたい。(委員)

- ・河川整備の目標として昭和 63 年洪水を考慮しない理由如何。(委員)

- ・限られた予算の中で、必ず第1位への対応が必要か。空知川も流量は大きい、雨量は過年度と同程度。どのように解釈するか。(委員長)

- 前回の流域委員会で、基本方針を上回ること、地域偏差が大きいことから棄却。全国でも必ずしも戦後最大を採用しているわけではない。また、昭和63年洪水を目標にすると中上流部の幌加内など市街地で対策が出来ない。平成26年洪水は中上流部で多量の降雨。中上流部の対策が必要と考えている。次回、降雨の状況等提示したい。(事務局)

- ・水防法が改正されたところ、超過洪水に対する検討如何。(委員)

- ・超過洪水への対応は、基本方針での対応に含まれるのだろう。(委員長)

- 施設の規模を上回る洪水に対しては危機管理型ハード対策の実施とともに、減災対策委員会で流域全体の市町村での議論が進められている。(事務局)

#### (4) 次回について

- ・速やかに次回の流域委員会を開催し、変更(原案)を提示の上、審議頂きたい。(事務局)

以上